

第2回 EUIJ 学生セミナー

「大欧州の時代 - ブリュッセルからの報告」

(EUIJ 奨学生 岩崎澄子)

9月9日(土)15時00分から17時30分まで、一橋大学のEUIJ拠点事務局会議室で、第2回EUIJ学生セミナーを開催しました。本セミナーは、1月20日に開催された第1回セミナーに続き、EUを学ぶ学生同士が情報交換ネットワークを築くとともに、EUに関する実践的な事柄を学び議論する場として企画しました。

第2回目の講師は、朝日新聞・論説委員の脇阪紀行氏にお願いしました。脇阪さんは、2001年から2005年までブリュッセル支局長を務められた経験をもとに、2006年春に「大欧州の時代 - ブリュッセルからの報告」を出版されています(岩波新書)。今回は、本書の内容に関し、とくに特派員生活とEU外交政策の動向について、お話しいただきました。当日は、一橋大学、ICU、成蹊大学、早稲田大学など15名の学生のほか、EU講座を立ち上げる近隣の国立市民の方々も参加しました。

セミナーでは、まず参加者が各自興味のある分野をひとつずつ話し、それをふまえて脇阪さんが、欧州の首都でのジャーナリスト生活、EU外交安保政策、環境政策、憲法条約の行方などを解説しました。その後、1時間以上にわたり、拡大後の東欧諸国の様子、欧州憲法条約の行方、EUの破綻国家への対応、トルコ加盟の可能性、エリートと市民の乖離などについて、活発な質疑応答が繰り広げられました。参加した学生が「本を読んで、聞きたいと思っていたことをすべて聞くことができた」と言うように、顔の見える距離で本セミナーが開催されたことを嬉しく思います。和やかな雰囲気の中で、充実したセミナーとなりました。

今後も、実務経験のあるの方々を中心に講師としてお招きし、EUを学ぶ学生達にとって有益な情報交流と議論の場となるよう、セミナーを続けていきたいと思っております。OB/OGや他大学にもオープンにしていますので、ぜひお気軽に参加してください。